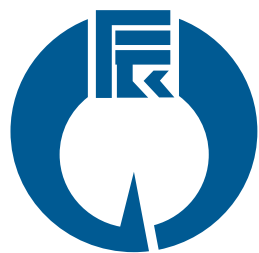


編集・辰野町議会広報委員会  
発行・辰野町議会



# 辰野町 議会だより



今年しゃ  
豊年だあ〜よ

第**39**号  
平成22年(2010年)  
11月1日



横川御柱曳行



まつたけ豊作

## 9月定例会

- 総務産業建設常任委員会活動から  
..... P 2 ~ 4
- 社会福祉教育常任委員会活動から  
..... P 5 ~ 8
- 議会活動報告 ..... P 8

## 委員会活動から

## 総務産業建設常任委員会

- 平成21年度一般会計決算審査、特別会計等決算審査
- 条例審査
- 現場視察報告



## ●一般会計決算審査

歳入の全部と歳出の内、議会費、総務費、衛生費のうち水道費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、公債費について審査を行い、認定としました。

## 歳入

景気低迷による厳しい財政状況の中ではあったが、前年を若干上回る、歳入額81億94,282千円で、前年度に比べ4.2%、3億28,416千円の増額となっております。特に町の収入に占める割合が大きい町税は、10・5%の減少となりました。町税全体の収入決算額は27億78,455千円であり、前年より1,774千円の減額です。議員報酬及び職員人件費など議会運営に要する経費です。

法人町民税の大幅な減額は町内大手関連企業二社の収益の悪化が大きく、また町内企業のほとんども景気低迷の影響を顕著に受け、また固定資産税、都市計画税の減額についても、不況

の続く中、新規企業の進出はなく工場新築物件がないためと、建物・機械の償却は進められていること、土地の評価価格の下落などが税収減の原因となっているとの説明でした。

め、前年度より1億39,960千円の増額です。主なものは、行政事務委託金、電気保安管理業務ほか庁舎管理各委託料、湯にいくセンター指定管理委託料などさまざまなものです。

キルアップのため21年度初めて導入し、1万円を上限とした助成制度であり、18件の受講があったとの説明でした。

今後さらに人材育成のためにも自己啓発活動の助成には、積極的な取り組みが必要であるとして、予算を増額してもこの制度の充実に努めたいとの説明が多くなりました。

## 歳出

## ●議会費

歳出の1%を占め、前年度より1,774千円の減額です。議員報酬及び職員人件費など議会運営に要する経費です。

## ●総務費

歳出の15・6%を占

委員から現金収納部署において、金銭（公金）の収納事務における管理の適正化及び強化を図り、庁内での統一的な処理フローを早急に作成すべきとの意見がありました。

また、委員から防災事業費危機管理防災事業として防災行政無線保守点検委託料と防災無線難聴地区解消策についての質問に対し、防災無線は老朽化が激しく、難聴地区解消策を含め町民アンケートを参考にデジタル化への対応を検討しているとの説明でした。

現金収納の会計処理については町長への要望事項として提出してあります。

また、委員から防災事業費危機管理防災事業として防災行政無線保守点検委託料と防災無線難聴地区解消策についての質問に対し、町区土地改良に伴うもの、315千円、その他顧問料を含めた6件の相談物件であるとの説明がありました。



観光情報センターパルT I S

観光情報センターパルT I S管理運営業務委託料について、委員から管理運営業務内容と利用状況の質問に対して、高速インターネット無料体験、観光パンフレットの提供、研修室の貸出及びセンターの維持管理が主であり、利用者は固定化しているとの説明でした。

委員からインターネットは各家庭に普及しており、今後は観光推進に相応しい利活用への見直しが必要ではないかとの質問に対して、23年3月指定管理者契約が切れるため、今後検討するとの説明でした。

#### 観光情報センターパルT

I Sの今後の活用について町長要望事項として提出してあります。

徴税費のうち、法人町民税過誤納還付金について、委員から想定されていたかとの質問に対し、法人の場合には前年度決算実績が翌年度の税対象となるため、企業の急激な業績の変動により、還付金対応が必要となる、町内大手企業関連2社の大幅な収益の落ち込みによる修正申告分の還付金で想定済みであるとの説明でした。

#### ■衛生費のうち水道費

起債償還など町負担金及び簡易水道への繰出金が主なものです。

#### ■農林水産業費

歳出の3.2%を占め、前年度より17,927千円の減額です。

農業総務費の主なものは、農業集落排水処理施設特別会計繰出金です。

農業振興費は、町営農センター負担金・西部土地改良

区畑かん償還金負担金・辰野町有害鳥獣駆除対策協議会補助金が主なものです。

土地改良事業費は、国庫補助による農山漁村活性化プロジェクト支援交付金荒神山地区用水路工工事、町単土地改良として宮木堰ほか3件の用水路改修工事、また頭首工台帳の整備委託料が主なものです。

地域及び経営基盤確立農業構造改善事業費は、ふる里農村公園指定管理、これはかやぶき館への委託料、土づくりセンター運営のための経費です。

#### 林業事業のうち、報償費

について委員から町有害鳥獣駆除報償金の鹿・猿・猪の駆除実績についての質問に対し、鹿300頭・猿61頭・猪141頭との説明がありました。

有害鳥獣対策では、それなりの予算を取り進めて来ており、鹿・猪対策としての電気柵では効果を上げているが、猿には成果が少なく、今後有効な対策を考えて欲しいとの要望がありました。

#### ■商工費

歳出の2.8%を占め、前年度より27,806千円の減額です。

商工総務費のうち負担金、補助及び交付金としてのプレミアム商品券発行事業負担金・中小企業振興資金の融資の保証及び利子補給・商工業誘致及び振興補助金など各種事業への補助金負担金などが主なものです。

委員からプレミアム商品券発行事業は景気低迷しているなか町内景気浮揚策としての早急な取り組みを評価するとの意見がありました。

観光費は、観光施設とほたる童謡公園の安全防護柵設置工事及び管理運営、ほたるの保護育成及びほたる祭りの負担金、ほたる駅伝大会の運営が主なものです。

委員からほたる童謡公園環境整備について草刈りなどの残処理の徹底を図るよう要望があり、早急に堆肥化などの対応をしたいとの回答がありました。



城前橋改築工事【辰中前】

#### ■土木費

歳出の14.9%を占め、前年度より48,447千円の減額です。

#### 委員から土木総務費のうち

土砂災害特別警戒区域危険住宅移転事業補助金についての質問に対し、申請は1件で危険区域から他所への移転新築物件との説明がありました。委員からの除雪機購入補助金についての質問に対して、今村区・北大出区各1台の購入補助であるとの説明でした。

用地対策費では、新町後山地区土地取得や土地開発公社への繰出金が主なものです。



町道1号線工事【老人福祉センター前】

道路維持費では、除雪委託料、補修工事が主なものです。

備品購入費のうち樹木粉碎機について、委員から地区へ貸し出しは可能かとの質問に対し、事故など保障問題もあり、粉碎機のみは貸し出しは出来ないが、地区の要請があれば使用目的により町職員が同行して作業することも可能との説明でした。

城前橋改築事業は天竜川上流河川事務所委託料、町道1号線城前線歩道改築工事が主なものです。

道路新設改良費は、町道

4号線下辰野松ヶ丘改良工事ほか町道10路線改良工事費及び県事業地元負担金が主なもので、道路舗装費は、町道17路線の舗装工事費が主なものです。

地方道路交付金事業は町道11号線羽場交差点土地購入費、工作物等移転補償料が主なものです。

生活対策道路整備事業費は町道1号線宮木城前の改良工事ほか6箇所工事費、新町西天線沿いの土地購入費が主なものです。

■消防費

歳出の4.3%を占め、前年度より1.5、0.99千円の増額です。

分団・区の防災力向上のために消防ポンプ自動車2台の更新、消火栓新設4基及び消防ポンプ用ホース、消火栓用ホースの補助が主なものです。

■災害復旧費

歳出の0.5%を占め、前年度より3.4、8.22千円の



林道赤羽線災害復旧工事【河子沢】

増額です。

現年災害復旧事業として河子沢工事ほか9箇所と町道2171号線工事が主なものです。

■公債費

歳出の12.3%を占め、前年度より3.0、2.23千円の減額です。

総額9億7,350.6千円の内訳は、起債元金8億7,311.9千円、起債利子1億3,87千円です。

●特別会計決算審査

上水道事業会計

簡易水道特別会計

小野簡易水道特別会計

公共下水道特別会計

特定環境保全

公共下水道特別会計

農業集落排水処理

施設特別会計

以上6会計共に健全な運営で特に問題はなく、上水道事業及び簡易水道事業では今後良質な水の安定供給、下水道事業では更に水洗干净の向上に努めるとしています。尚、下水道接続の融資を奨め、水浄化推進を図っています。

■有線放送特別会計

施設の老朽化が進んでいるため、有線放送システムの早期再編実現についての質問に対し、すでに審議会の答申も受けているが、デジタル化との関連も含め検討しているとの回答がありました。

以上、付託されました議案は慎重審査の結果、委員全員一致で認定しました。

●条例審査

■辰野町監査委員事務局設置条例の制定について

この条例は複雑多岐にわたる監査業務に対応するため、より独立性・専門性の強化を図れるよう監査委員事務局設置の条例を制定したいとするものです。

委員会の中では、専任職員を配属し更に強化すべきとの強い要望もありましたが、時宜を得た条例制定であるとの意見が多く全員一致で可決しました。

●現場視察

■豪雨災害林道施設復旧工事 林道赤羽線(河子沢)

■生活対策道路整備事業町道1号(老人福祉センター前)

■城前橋改築工事(城前)以上3箇所現場視察を行いました。

委員会活動から

# 社会福祉教育常任委員会

- 平成21年度一般会計決算審査、特別会計等決算審査
- 条例審査
- 陳情審査
- 現場視察報告



## ●一般会計決算審査

一般会計歳出のうち民生費、衛生費(水道費を除く)、教育費について審査を行い認定としました。

### ■民生費

福祉タクシー・バス利用対象者については、昨年の152名から大幅増の286名に対し、1人当たり24枚配布でしたが、利用は22%の使用率でした。

議員からは適正に使用されているかどうか疑問視される声、また対象者の選



老人福祉センター

定はどうかとなっているかとの質問では、非課税世帯中心に民生児童委員の選定によるとの説明でした。

身体障害者等支援事業の委託料は21年度緊急雇用対策費として就労支援は6ヶ月・製品販売促進は1年間の人件費、母子通園訓練では発達障害の子を箕輪若草園へ4ヶ月通園に充てた経費です。

身体障害者等支援事業の扶助費は国・県から3/4の補助、町は1/4を持ち、障害者自立支援対策事業で延べ1,445名、補装具費44名への負担金であるとの説明でした。

老人福祉費の高齢者温泉使用料は米寿のお祝い入浴券として103名125枚配布したもので52%の使用実績でした。

入浴券の活用が疑問視されたことから21年度で終了し、22年度は辰野町共通ギフトカードの配布としたとの説明でした。

老人福祉費の工事請負費については、毎年工事が施工



神戸介護予防センター

されているがなぜか、との質問に対し、4年計画の3年目に当たり、老人福祉センター2階、壁・床の張替工事であるとの説明でした。

老人保護措置事業は特養入居に至らない者で昨年より3名増加しており、南箕輪老人ホームへ9名、聖母寮へ2名、みすず寮へ5名、和楽荘2名の計18名であり、入所措置費の質問に対しは基本額と条件による加算額の合計であるとの説明でした。

安心子ども基金事業費における空気清浄機購入の質

問に対しては、インフルエenza対策費として43台購入したものです。

### ■衛生費

辺地対策浄化槽事業は21年度から23年度までの新規メニューであり、交付税92%の補助を受け、鴻之田地区で実施するものです。

環境衛生費太陽光発電システム設置補助金は23件の申請によるものです。

地方消費者行政活性化事業は21年度消費者庁新設による新メニューとして悪質商法防止ステッカーを作成し全戸へ配布した需用費であり、備品購入費は消費者行政に関わる出前講座などに使用するプロジェクト・スクリーンを購入したものです。

聖地管理事業の質問では、管理料は一律年間2千円、価格は1号区画18万円、2号区画30万円、3号区画35万円、5号区画54万円であり、全体で20区画の残です。



辰野美術館

■教育費

南小・川島小の耐震2次診断委託経費の違いに対する質問には箇所数、面積の違いから大幅に変動するということであり、残るは各校体育館の耐震診断です。

学校情報通信技術環境整備事業は国の経済対策補助金であり、各校へ電子黒板1台・デジタルテレビを西小31台、東小20台、南小14台、川島小13台、中学30台を備品として32型・42型・50型の3種類をそれぞれ購入したものです。

教育振興費の要保護及び

準要保護児童就学援助費

は、小学校で89名、特別教育で4校21名、中学ではそれぞれ39名と11名が対象者です。

美術館の開館にまつわる質問に対し、開館日154日(対前年4日増)、入館者4,110名で450名増、入館料4万円ほど増の44万2千円程の実績であったという説明でした。

体育協会交付金の質問には部会としての28団体へ交付する経費といった説明でした。

体育指導員は11名で構成されているものの、出勤要請が多くボランティア化されつつある現在、報酬額が妥当であるかどうか検討すべきである旨の発言がありました。

保健体育費では先日の職員不祥事に対する実態説明はきちんと出来たか、又再発防止策はどうかといった質問が多数出されました。そこで再発防止策についての書面提出をするよう求めました。

●特別会計決算審査

■国民健康保険特別会計

被保険者数は、一般被保険者5,366人、退職被保険者530人で計5,849人となり全人口の26.9%に当たり加入世帯割合は42.7%となっています。歳入歳出差引は14,892千円で22年度へ繰り越しとなりました。

前期高齢者交付金は553,637千円で前年比70,000千円の増額となり、これは前期高齢者の退職を機に国保への加入者が増加したためです。

総務費の負担金は新システムスタートに伴い情報センターへの負担金とのことでした。

保険事業では、人間ドックの補助金を日帰り123人に2万円、1泊2日43人に4万円、脳ドック31人には経費の1/2の補助を出しており、特定健診の強い勧めが人間ドック指向として数字に表れています。諸支出金の繰出金中、両

小野国保へは対前年12,000千円の減額であり、これは病院から診療所への移管に伴うためです。

■国民健康保険第一診療所特別会計

毎週月・金の2日間午後1時から5時までの診察と往診で、延べ診療日数94日、延べ診療者数642人、1日平均6.8人となり、前年比133人との減少となっています。従って診療収入は対前年比16万円ほどの減額となりました。

歳入歳出差引残高497,671円が繰り越しとなりました。

■国民健康保険川島診療所特別会計

毎週火曜日午後1時から5時までの診察と往診で、年間診療日数48日、総診療者数349人、対前年比57人減少し、1日平均7.2人となりました。

歳入歳出差引残高304,609円が繰り越しとなりました。

■後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度は、75歳以上及び65歳以上75歳未満で一定の障がいのある方を対象として20年度から都道府県単位の広域連合で実施されており、これまでの老人医療制度に代わるものとして保険料徴収や負担金の納付を行うものです。

加入対象者が高齢であること、年金からの天引きであることから、収納率は99.1%と高くなっています。

歳入歳出差引2,043,303円が繰り越しとなりました。

■老人保健医療特別会計

歳入合計9,940,164円、歳出合計9,953,791円で差し引き13,627円の不足となり、昨年同様不足金は22年度繰越処理との説明でした。

■辰野総合病院事業会計

5月から内科医1名増の常勤医8名体制で行ってきたが、整形外科医が4ヶ月療養休暇となり入院患者数



が前年度より2,508人、外来患者数が6,029人減少しました。その結果、収益では入院で前年より26,064千円の減、外来で透析センターの3床増床により3,509千円の収入増となったものの、給与比率は65・8%と依然高く、材料費についても1,347千円増加し、差引125,810千円の赤字決算となりました。

医業費用における薬品費は患者の減少にも関わらず、対前年28,000千円増加している点の質問には、抗がん剤など高額の新規採用薬品費が多くなったためであるとの説明でした。

病院移転新築を目前に控

えているにも関わらず、経営状況は益々厳しさを増しており早急に抜本対策を講ずるべきであるとの意見が多く出されました。

別途要望事項として提出しています。

■介護老人保健施設特別会計  
歳入歳出差引は216千円余の繰越となっております。年々減少し厳しい経営状況となっております。

入所者は1日平均48・2人で前年比0.2人増加しており、通所者は対前年比0.4人増の4.7人であり、更なる取組を期待するところです。

需要費の節減に努め、おむつ代で300千円程の減少、深夜料金を活用したエコキュートを昨年から導入しており燃料費の減少が見られます。

給食業務、電気代、発電装置など病院との負担割合についての質問が出され、併せて福寿苑の今後の在り方について、廃止か、現状での存続か、他組織での指定管理か、早急はその方向

を打ち出すべきであり、要望事項にも挙げています。

■介護保険特別会計  
歳入歳出差引は2,532千円の繰越となりました。

介護認定審査会は上伊那広域での共同設置であり、その負担割合は人数割り、均等割りになっており、対前年比96名増の849名であり、年々増加しています。

包括的支援事業では14事業所に対し介護予防ケアマネジメント委託料を支払っています。

以上、付託されました議案は、慎重審査の結果、全員一致で認定といたしました。

### 条例審査

■辰野町泉水介護予防センター設置及び管理に関する条例の制定について

この議案は7月6日竣工の泉水介護予防センターの設置と管理に関する条例を制定したいとするものです。



設備の修繕を含めた維持管理については、全区の管理となります。

■辰野町川島介護予防センター設置及び管理に関する条例の制定について

この議案は8月31日竣工の川島介護予防センターの設置と管理に関する条例を制定したいとするものです。

設備の修繕を含めた維持管理については、全区の管理となります。

■辰野町公の施設の指定管理者の指定について

この議案は辰野町泉水介護予防センター、川島介護予防センター設置及び管理に関する条例の制定を受け、指定管理者を各区に指

定するものです。以上、3条例は全員一致で可決しました。

### 陳情審査

■私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情

提出者  
中信地区私学助成推協議会  
会長 柳沢 邦昭

この陳情は国・県に対し私立高校に大幅な経常費補助、教育条件改善のため大幅な施設設備費の補助などを求め、又辰野町から中信私学に通う保護者の経済的負担軽減のため、以前制定されていた助成制度の復活を求めるものです。今回の陳情書には私学の現状を記した資料を添付するなど一定の誠意を評価できる内容であり、国・県に対しては、委員全員が陳情趣旨に賛同し意見書を提出すべきであるとして、全員一致にて採択に決しました。

辰野町の制度復活については、他地区との兼ね合も考慮すべきとの意見があ

り、採決の結果不採択としました。

### 意見書

- 1、私立高校への経常費2分の1助成を堅持し、大幅な経常費補助を行うこと。
- 2、私立高校の教育条件改善のために大幅な施設、設備費の補助を行うこと。
- 3、私立高校の保護者負担を軽減するため大幅な補助を行うこと。

### 要望事項

- (1) 辰野総合病院に関して病院経営の厳しい現状の中、病院の組織、公営企業法全適用など抜本的な対策に加え、患者の減少を喰い止め、親しまれ信頼される病院とするためには、医師の確保、患者の立場に立った接遇などについて早急に対策を講じるべきである。
- (2) 辰野町介護老人保健施設について  
病院移転新築が進みつつある現在、病院併設型施設として運営してきた福寿苑の

今後の在り方については、あらゆる角度から検討し、23年度早々にはその方向を明らかにすべきである。

### 現場視察

- 神戸介護予防センター
  - 新町保育園建設工事現場
  - 老人福祉センター2階 壁・床張替え工事現場
- 以上三箇所現場視察を行いました。



新町保育園建設現場

## 議会活動報告

### 北部議員懇談会開催

北部議員懇談会が10月4日辰野町を会場に開催されました。

これは辰野町・箕輪町・南箕輪村の議員が共通認識のもとに集い、互いに切磋琢磨し、今後とも地域発展のためにつくしていくことを誓い合い、さらに懇談によって情報を交換し合うものです。

第1部では、近年社会問題化している児童虐待の現状について、諏訪児童相談所長宮沢学氏より講演をいただきました。

おもな内容は、虐待相談が年間に全国で4万件を超え、そのうち75%位は親子で共同生活をしながら改善に努めているとの事でした。

虐待の要素の一つが育児に対しての不安やストレスのほけ口が弱い立場の児童や子供に向かう傾向にある。

今後は初期の段階は市町村が受け持ち、次の段階は児童

相談所の役目という仕分けも必要あるとの話でした。近隣の町村においても役場内に窓口や相談員を配備している事例も伺いました。

第2部では、地元企業の視察を行い、(株)HIH回転機械を見学させていただきました。

伝統に裏づけされた信頼の技術と世界に広がるネットワークを駆使し、産業と社会のニーズに的確に答えている一端を垣間見る事ができ、技術の進歩とそれを支える人材がこの地元にあることに自信と誇りを持たせていただきました。



**編集後記**  
猛暑・酷暑・異常気象と口を開ければ暑いという言葉の挨拶になった夏、その暑さは秋になっても一向に衰えず、若い人でも熱中症に悩まされるほどでした。

私達議会も締めくくりの年、開かれた議会を目指し、委員会条例・会議規則・議会運営基準・傍聴規則他の見直しを行い、更に議会基本条例の制定に向けて研究を重ね取り組んでいるところです。

国や県との調整・合法化の手続など極めて精度の高い行程が要求される作業ですが、将来に向けての大きな一歩を踏み出す基礎は整えられたのではないかと考えております。残された任期のなかで、できる限り前に進みたいと考えております。

また11月6日は議会開設55年の記念講演会・記念式典を開催いたします。

今後においても町民の皆様への建設的なご意見をお寄せいただけたら幸いです。

議会広報委員会